



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8214 URL http://www.aoki-hd.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 彰宏
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 田村 春生 (TEL) 045-941-1388
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	85,675	3.7	1,359	105.8	959	88.7	163	6.7
29年3月期第2四半期	82,656	1.2	660	△82.1	508	△86.0	152	△92.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 217百万円(64.9%) 29年3月期第2四半期 132百万円(△93.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	1.87	—
29年3月期第2四半期	1.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	227,993	141,687	62.1
29年3月期	234,681	143,906	61.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 141,599百万円 29年3月期 143,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	21.00	—	22.00	43.00
30年3月期	—	22.00			
30年3月期(予想)			—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	199,850	3.0	14,500	0.4	14,000	0.8	7,600	3.3	87.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

売上高を修正しております。詳細は、4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	90,649,504株	29年3月期	90,649,504株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	3,768,212株	29年3月期	3,404,290株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	87,018,467株	29年3月期2Q	88,824,724株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料について)

・当社は、平成29年11月17日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境が堅調に推移し、緩やかな回復基調が継続しております。一方、個人消費は海外情勢の不確実性や景気の先行き不透明感などから力強さに欠ける状況となっております。

このような環境のなかで、当社グループは各事業において下記のような諸施策を実施した結果、売上高は856億75百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は13億59百万円（前年同期比105.8%増）、経常利益は9億59百万円（前年同期比88.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億63百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

（ファッション事業）

AOKIでは、メンズ、レディースとも「本当に洗えるスーツ」等の機能性スーツが好調に推移いたしました。また、改装は一部店舗で工事終了日が下期に変更になったものの約60店舗が完了し、店舗環境面の整備や改善を図りました。店舗面では、大きいサイズの専門店「Size MAX（サイズマックス）」の単独店2店舗を含む8店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため移転等を含め8店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末の店舗数は573店舗（前期末573店舗）となりました。

ORIHICA（オリヒカ）は、自由に着回しが楽しめる「THE 3rd SUITS（サードスーツ）」でビジネス・ビジカジスタイルを提案するとともに、セレモニー用のフォーマルと関連するアイテムを拡充し提案を強化いたしました。店舗面では、2店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため5店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末の店舗数は142店舗（前期末145店舗）となりました。

これらの結果、売上高は462億98百万円（前年同期比1.1%増）、営業損失は前期に実施した大規模改装に伴う費用が減少したこと等により10億57百万円（前年同期は18億16百万円の営業損失）となりました。

（アニヴェルセル・ブライダル事業）

ゲストハウスウェディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、施設ごとの強みやコンセプトを明確にした販促・PRを実施するとともに、多様化するウェディングのニーズやトレンドにお応えするため、リニューアルを行い婚礼から広がる商品・サービスの強化施策を実施いたしました。また、引き続き業務効率化の推進により、売上原価や販管費の削減を図りました。

これらの結果、売上高は131億87百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は9億47百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

（カラオケルーム運営事業）

株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、人気キャラクターとのコラボレーションキャンペーンを推進するとともに、カラオケ最新機種を導入やコンセプトルームの拡充等19店舗のリニューアルを実施し、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、4店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため6店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末の店舗数は、183店舗（前期末185店舗）となりました。

これらの結果、売上高は89億39百万円（前年同期比0.9%増）、営業損失は人件費等の売上原価が増加し26百万円（前年同期は38百万円の営業利益）となりました。

（複合カフェ運営事業）

株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、最新の高性能パソコンへの入れ替え及び高速Wi-Fiの全店導入により利便性の向上を図るとともに、女性専用エリアの拡充等18店舗のリニューアルを実施し、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、愛媛県への初出店を含め19店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため3店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末の店舗数は362店舗（前期末346店舗）となりました。

これらの結果、売上高は172億73百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は減価償却費や人件費等の売上原価が増加し10億99百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ66億87百万円減少し、2,279億93百万円となりました。

流動資産は、売掛金が季節的要因等により64億4百万円及び現金及び預金が設備投資や法人税等の支払い等により11億71百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ73億87百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が新規出店及びリニューアル等により16億33百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ7億円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、短期借入金が40億円増加した一方、一年内返済予定の長期借入金が35億円及び買掛金が季節的要因等により46億72百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ49億54百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が約定返済等により3億25百万円減少した一方、リース債務等のその他が6億63百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ4億86百万円増加いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び剰余金の配当の結果17億56百万円減少し、自己株式が取得により5億17百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ22億19百万円減少しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末と比べ11億71百万円減少し、274億36百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、58億97百万円（前年同期と比べ35億22百万円増加）となりました。これは主に、仕入債務の減少額が46億72百万円となった一方、減価償却費が41億95百万円及び売上債権の減少額が64億4百万円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、36億74百万円（前年同期と比べ12億50百万円増加）となりました。これは主に、新規出店及びリニューアル等に伴う有形固定資産の取得による支出が36億37百万円となったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、33億95百万円（前年同期と比べ16億79百万円減少）となりました。これは主に、短期借入金が40億円増加した一方、長期借入金の約定返済による支出が38億25百万円、配当金の支払額が19億20百万円及びリース債務の返済による支出が11億32百万円となったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、通期連結業績予想の進捗に対して売上高はやや下回っており、営業利益はやや上回って推移いたしました。

通期の連結業績予想については、第2四半期累計期間の業績をベースに、ファッション事業の改装工事の終了日が一部店舗で下期に変更になったこと及び業績に季節的変動があり下期の比重が高いこと、また、今後の景況感や市場環境等を踏まえ、各事業の出店計画及び経費計画等の見直しを行った結果、平成29年5月11日に公表しました連結業績予想について、利益計画は据え置き売上高計画を修正いたしました。新規出店は、ファッション事業で14店舗を19店舗に、複合カフェ運営事業で21店舗を22店舗に期初から変更いたしました。

平成30年3月期 通期連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成29年5月11日公表)	200,550	14,500	14,000	7,600	87.34
今回修正予想(B)	199,850	14,500	14,000	7,600	87.40
増減額(B-A)	700	—	—	—	
増減率(%)	△0.3	—	—	—	
ご参考(前期実績) (平成29年3月期)	194,046	14,447	13,895	7,355	83.38

なお、セグメント別の通期業績予想についても、以下のとおり売上高を修正しております。

【平成30年3月期のセグメント別予想】

	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	119,200	27,700	18,800	34,200	199,850
前期比(%)	100.8	103.1	100.7	113.0	103.0
セグメント利益	8,500	2,800	900	1,900	14,500
前期比(%)	104.1	101.4	101.4	100.4	100.4

(注) セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、各セグメントの合計と連結との差異は、連結上の調整額です。

※ 上記の業績予想は、現時点で当社が入手している情報等に基づいて判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,608	27,436
売掛金	10,508	4,103
たな卸資産	26,905	27,071
その他	8,974	8,994
貸倒引当金	△32	△30
流動資産合計	74,963	67,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	61,568	62,148
土地	36,953	36,952
その他(純額)	13,164	14,218
有形固定資産合計	111,686	113,320
無形固定資産		
投資その他の資産	6,301	5,901
差入保証金	8,259	8,209
敷金	21,066	20,890
その他	12,444	12,136
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	41,730	41,196
固定資産合計	159,718	160,418
資産合計	234,681	227,993
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,159	14,486
短期借入金	—	4,000
1年内返済予定の長期借入金	4,150	650
未払法人税等	1,603	760
賞与引当金	1,647	1,898
役員賞与引当金	89	56
その他	12,546	12,390
流動負債合計	39,197	34,242
固定負債		
長期借入金	37,125	36,800
役員退職慰労引当金	1,949	1,998
ポイント引当金	1,069	982
退職給付に係る負債	976	1,029
資産除去債務	5,513	5,645
その他	4,943	5,607
固定負債合計	51,577	52,063
負債合計	90,774	86,306

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	27,833	27,833
利益剰余金	96,753	94,996
自己株式	△4,325	△4,842
株主資本合計	143,544	141,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576	578
退職給付に係る調整累計額	△302	△249
その他の包括利益累計額合計	274	328
新株予約権	87	87
純資産合計	143,906	141,687
負債純資産合計	234,681	227,993

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	82,656	85,675
売上原価	48,313	50,669
売上総利益	34,342	35,006
販売費及び一般管理費	33,681	33,646
営業利益	660	1,359
営業外収益		
受取利息	49	46
受取配当金	71	39
不動産賃貸料	305	283
その他	150	74
営業外収益合計	576	444
営業外費用		
支払利息	158	173
不動産賃貸費用	256	237
その他	314	432
営業外費用合計	728	844
経常利益	508	959
特別利益		
投資有価証券売却益	542	—
特別利益合計	542	—
特別損失		
減損損失	391	337
固定資産売却損	—	38
災害による損失	102	—
特別損失合計	494	376
税金等調整前四半期純利益	556	582
法人税、住民税及び事業税	1,097	725
法人税等調整額	△693	△305
法人税等合計	403	419
四半期純利益	152	163
親会社株主に帰属する四半期純利益	152	163

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	152	163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	2
退職給付に係る調整額	58	52
その他の包括利益合計	△20	54
四半期包括利益	132	217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132	217
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	556	582
減価償却費	3,898	4,195
減損損失	391	337
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	37	49
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△68	△86
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	112	132
受取利息及び受取配当金	△120	△85
支払利息	158	173
固定資産売却損益(△は益)	—	38
投資有価証券売却損益(△は益)	△542	—
売上債権の増減額(△は増加)	6,179	6,404
たな卸資産の増減額(△は増加)	△812	△165
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,899	△4,672
未払消費税等の増減額(△は減少)	△646	73
その他	△337	590
小計	4,906	7,568
利息及び配当金の受取額	97	65
利息の支払額	△159	△172
法人税等の支払額	△3,706	△2,459
法人税等の還付額	1,236	895
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,375	5,897
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,907	△3,637
無形固定資産の取得による支出	△212	△202
敷金及び保証金の差入による支出	△865	△266
投資有価証券の売却による収入	2,068	—
信託受益権の純増減額(△は増加)	258	716
その他	234	△282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,424	△3,674
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	4,000
長期借入金の返済による支出	△1,025	△3,825
リース債務の返済による支出	△894	△1,132
自己株式の取得による支出	△1,848	△517
配当金の支払額	△1,795	△1,920
その他	490	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,074	△3,395
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,123	△1,171
現金及び現金同等物の期首残高	27,560	28,608
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,436	27,436

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

自己株式の取得

当社は、平成29年2月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式363千株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が516百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が4,842百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	45,810	12,899	8,852	15,094	82,656	—	82,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	8	4	—	14	△14	—
計	45,811	12,908	8,856	15,094	82,671	△14	82,656
セグメント利益 又は損失(△)	△1,816	831	38	1,274	327	333	660

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額333百万円には、セグメント間取引消去2,177百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,844百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖や建替えが決定し回収が見込めなくなった又は損益が継続的にマイナスとなっている営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においてはそれぞれ147百万円、172百万円及び71百万円です。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	46,287	13,177	8,936	17,273	85,675	—	85,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	10	2	—	23	△23	—
計	46,298	13,187	8,939	17,273	85,698	△23	85,675
セグメント利益 又は損失 (△)	△1,057	947	△26	1,099	963	396	1,359

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額396百万円には、セグメント間取引消去2,126百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,730百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「アニヴェルセル・ブライダル事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖や建替えが決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においてはそれぞれ144百万円、10百万円、104百万円及び77百万円です。